

そし か だてう

(t)

初任者が日頃から抱えている

不安や悩みはなんでしょうか?



①studio.Nが、初任者へ果たす役割がわかる。

②studio.Nのよさを3つ伝えることができる。

③自校での初任研で、①・②を使える。

Studio.Nとは…

七重小学校の

初任段階研修の場



初任者が多い

UDなんて、、、

つたない授業ばかりなんじゃない か? 生徒指導は、できないんじゃないか?



・ 授業についての不安

- ・ 授業外についての不安
 - ・UDについての不安

やっぱり授業が不安・・・

量が多い…

明日の 授業が…



単元の見通しが もてない…

どういう授業 をしよう… そんな時・・・

1単元の指導案作成!

過程。	○学習活動。	指導のポイント。
導入。	◎九九を唱えたり、九九表を元にして九九の定着を確	L.
	認、想起する。	・テレビでは九九表をうつす。。
	◎本時の問題を確認する。	九九表の7の段の部分をうつ
	©りくさんは、7×4の答えをわすれてしまいまし	J a. 12
	た。りくさんにどんなヒントをあげるとよいですか。」	※りくさんの条件。 7 7 14
	***************************************	7×4以外はおぼえている。
	○本時のめあて(学習課題)を把握する。	かけ算の意味はわかっている。
		N-O Making On-O CV-O
	◎7×4の答えの見つけ方を考えよう。。	
	Ozvarztat	- 2 - 2 - 2 - 2 - 本3 左を切ね
	①7×3に7をたす。 7×5から7をひく。	7+7+7+7の考え方を想起
		している児童には、計算が複雑に
	4×7を考える。	なってしまう場合があるためかけ
		算のきまりを用いて簡単に求る方
		法を考えさせる。。
展開。		4
	菜で表す。」	4
	4	a .
	©7×3+7	・ノートを実物投影機にうつしな
	7 × 5 - 7	がら説明する。説明したことを教
	4 × 7	師は板書に書き写していく。」
	の考え方を全体交流する。」	
	○黒板と児童の説明で確認した考え方を元に教科書	
	P10 の穴埋め問題に取り組む。	
終末。	○めあてに対するまとめをする。。	a .
	②かけ算のきまりをつかえば、九九の答えを見つけ	a .
	ることができる。	a .
	7×4=4×7	いれかえ作戦。
	7 × 4 = 7 × 3 + 7	ふやし作戦。
	7×4=7×5-7	へらし作戦、など児童がかけ算

UD手段の共有化

見通しが持て、 ブレがなくなる!

指導教諭の チェック



指導案の共有!

先輩の指導案と 見比べ! 他にも・・・

増える!

- 専門教員からの指導で自分の知識が

・先輩の体験談を聞き授業に生かす!

⇒よりよい授業へ!

つまり…



授業精度を高め、自信を持って授業ができる。

不安解消!

・授業についての不安・授業外についての不安・UDについての不安

授業外の不安



シャドーイング研修

シャドーイング研修とは?

先輩教員の立ち振る舞いや指導方

法を観察し、指導の意図を指導教

諭から学ぶ研修。



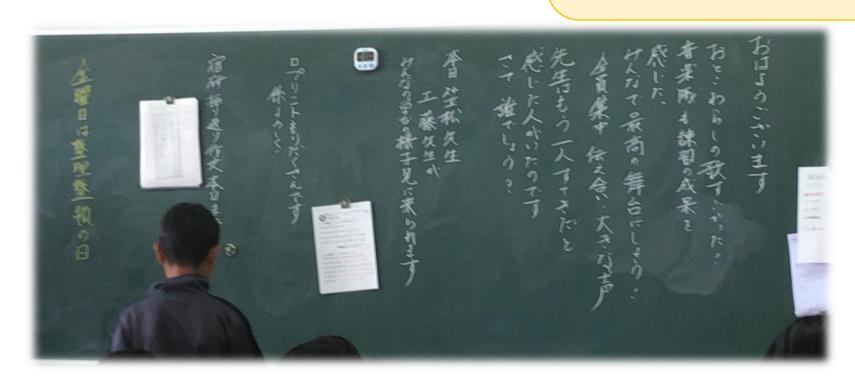




登校前

- ・教室で子どもを待つ。
- ・黒板に昨日の振り返り

普段、担任として過ご しているだけでは学ぶ ことができないこと。



朝の会

「ステキな人がいました。だれでしょう?」

やる気を引き出し、 自己有用感を高める



その日のゴールイメージ



おはようございます。

昨日の一学期のふりかえり

とてもステナだった!

宇期のみんなのがんばりが

つたわってきました。

とくにステキだと思ったもの

○○○のしごとをがんばった〇。 女先生もそう思ういつも

②○○○にむかってど力をした。

女いしきしないとできないよね。

3

女先生もがんはそわよ。 らしょにがんばろり、みんなり

イカす

朝学習は、算数です、

すぐやるこ

中休み

雑談 内気な子との交流

外へ

未然防止

UDの視点

普段、担任として過ご しているだけでは学ぶ ことができないこと。

その児童が過ごし方のルールを守れた時にすぐ褒める。

ちなみに…当然授業内の面でも

・授業の流れや、発問の精選

・特別支援的な配慮の必要な子への対応の仕方

など参考になる点

Wの手段の共有化

つまり…

シャドーイング研修 具体策やポイントを知り、 スキル向上 不安解消!

・授業についての不安 ・授業外についての不安 ・UDについての不安 なやみ(1)

教室環境のUDは、

どうしたらいいの?

秋月又渡山に。

第4号 2020.5.15

教室環境の ユニバーサル デザイン化

視覚的な刺激の巨ントロール②

視覚には、掲示物ばかりでなく、校内にある様々な物についても同じように過剰刺激となり得ます。物の置き方・片付け方の工夫でその刺激を減らすことができます。 各学級での視覚に対するユニバーサルデザインの取り組みを紹介します。(許可無く撮影させていただきました。すみません。)

児童にとって見る必要のない物は、見えないようにしましょう。引き出しや戸棚の中にしまう、紙や布で覆う等です。

児童が使う物や提出物は『何を』『どこに』『どのように』置くとよいのか、すぐにわ かるように視覚的に伝える配慮をすることも必要です。

整理整頓は、学級経営の基本の一つとなります。



〜黒板横の棚〜 布で覆い見せない工夫。



~教師用机の上~ 片付けられていてすっきり。



~名札置き~清掃用具入れ扉を利用。決められた場所にしまう。

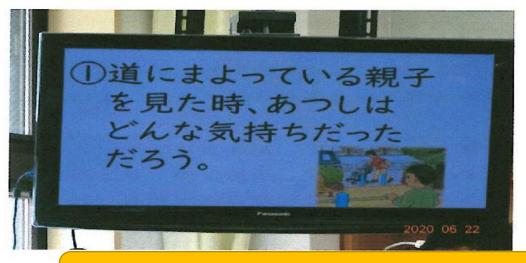




全ての児童に

専門教員からの指導





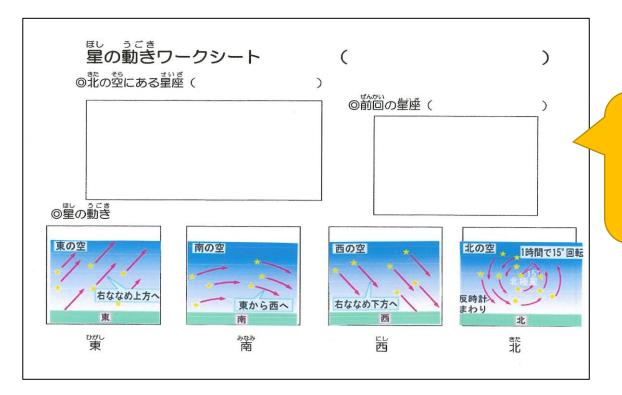
Studio.N内で情報交換

UD手段の共有化

なやみ(2)

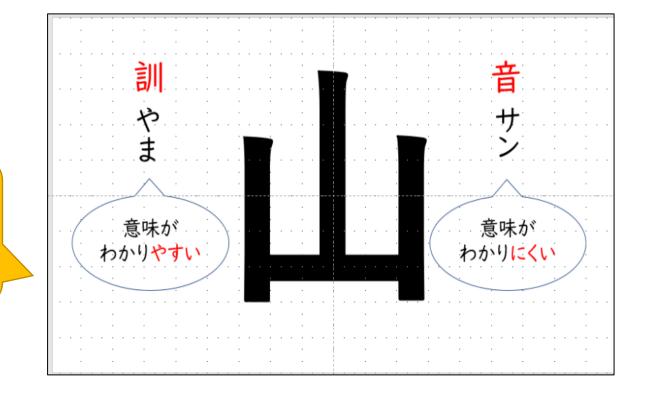
特支の教材は

どうやって作ろう?

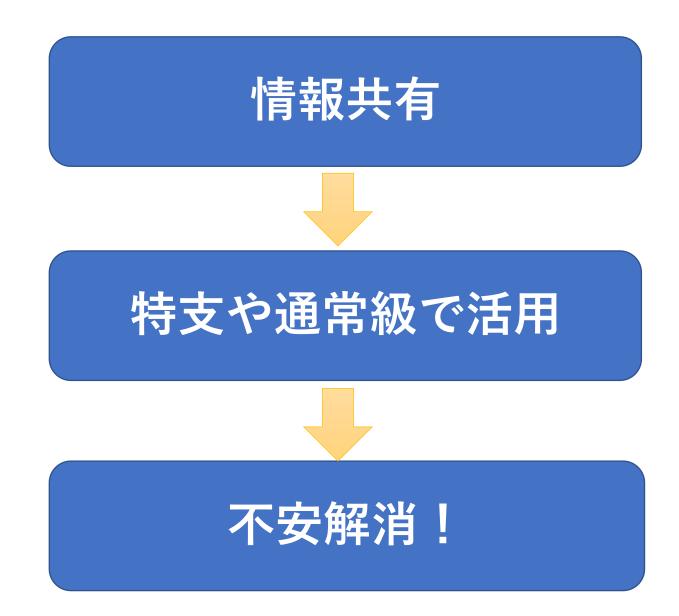


ベテランの先生の 教材を見せてもらう

特支で使った教材を 通常級でも活用!



つまり…





・授業内→ 指導案共有することで授業精度を高め、自信を 持って授業を進めることができる!

・授業外→ シャドーイング研修で具体策やポイントを知り 自分のスキル向上ができる!

UD → 情報を共有。特支・通常級で使うことができる!

つまり…

初任者が学校生活で困ることなく、

活躍できるよう、Nが寄り添い土台を

作ってくれる!





初任者が多い



有利になるように、studio.Nが変えてくれる。

(れ(ふりかえり)



①studio.Nが、初任者へ果たす役割がわかる。

②studio.Nのよさを3つ伝えることができる。

③自校での初任研などで、①・②を使える。

